

VI 防 災

1 概 要

本県の近年の主な災害としては、平成23年3月に東日本大地震（M9.0）が発生し、死傷者や家屋の半壊・一部損壊被害、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う計画停電や放射性物質の放出等による農産物の出荷停止など、県民生活に大きな影響がもたらされた。平成21年7月には、竜巻災害があり、負傷者や建物損壊など大きな被害が発生した。平成19年9月には、台風9号による風水害被害があり、本県西部地域を中心に、その本体が上陸する前から予想をはるかに上回る雨が降り、人的被害は少なかったものの、道路、河川、森林、農地等に多大な被害がもたらされた。

このような災害対応の教訓も踏まえて、災害から県民の生命・身体・財産を保護するため、様々な防災対策を推進している。

(1) 群馬県地域防災計画の修正

災害対策基本法に基づいて作成する都道府県地域防災計画は、都道府県における防災に関する基本的かつ重要な計画として位置づけられている。

本県では、群馬県防災会議が、県地域防災計画に検討を加え所要の修正を行っている。平成23年度においては、東日本大震災における新たな防災課題等を踏まえ、県境を越えた広域避難者の受入れや県外で原子力施設事故が発生した際の対応についての規定を新設するとともに、災害時要援護者等への配慮に係る規定や災害時等の燃料不足への対応に係る規定を充実させるなどの修正を行った。

(2) 各種訓練の実施

災害対応の知識・技術力の向上、初動体制の確立及び関係機関との連携強化を図るため、次の訓練を実施した。

区 分	参加者	訓練内容等
総合防災訓練 (高崎市との共催)	1000人	<ul style="list-style-type: none"> ○実施日：平成23年9月10日（土） ○場所：高崎市下之城町 高崎操車場跡地周辺土地区画整理事業地内 ○内容：震災・水害訓練、テロ対策訓練 ○参加機関：自衛隊、警察、消防、医療機関、民間事業者、ボランティア、住民など 80機関
災害対策本部 図上訓練	177人	<ul style="list-style-type: none"> ○実施日：平成24年2月14日（火） ○場所：災害対策本部室、県民ホール ○内容：平成24年1月に修正した地域防災計画に基づく初動対応を確認するため、大規模地震発生を想定し、県防災の中核である県災害対策本部の機能、役割の確認、関係機関との連携訓練 ○参加機関：陸上自衛隊第12旅団、警察本部、日赤群馬県支部、群馬DMAT、群馬県消防長会等の機関 ※通信訓練は全市町村、全行政（行政県税）事務所、全消防本部（局）が参加
非常参集伝達訓練	3,474人	<ul style="list-style-type: none"> ○実施日：平成24年1月7日（火）午前6時開始 ○対象：3号動員（動員計画対象所属の全職員）及び緊急登庁員 ○内容：大規模地震発生を想定した伝達システムに基づく抜き打ちの参集伝達訓練

(3) 備蓄倉庫・物資の整備

地域防災センター、10行政事務所、10拠点校及び6土木事務所事業所等に設置してある備蓄倉庫に、食糧、保存水、毛布等を補充した。

(4) 自主防災組織の育成・強化

「自分たちの地域は自分たちで守る」を合言葉に、自主防災組織の組織率100%を目指し、自主防災組織の普及啓発を行う出前講座や、地域の防災リーダーを育成する県民防災塾等を実施し、自主防災組織の育成・強化を図った。(H23.4.1現在の組織率76.3%)

県民防災塾は、平成12年度から実施しており、平成23年度は79人が参加した。(平成12年度の開始から延べ471人が受講。)

(5) 危機管理フェアの開催

災害やテロなど県民生活の安全安心を脅かす危機事案について、各種情報や対処方法について県民に正しく理解してもらうことを目的とし、平成24年1月20日・21日の2日間、県庁を会場に開催した。

初日の講演会では、「自衛隊と国民保護」「東日本大震災における派遣職員の活動報告」「放射能の日常生活への影響について」「これからの地震防災」の4部構成で講演を行ったほか、2日間を通して、自衛隊、警察、消防など防災機関が保有する装備資機材等やパネルの展示、各種体験コーナーや備蓄食糧の展示販売などを行った。23年度は新たにNTT、NTTドコモが参加したほか、自衛隊による炊き出しの無料配布も行い、延べ1,800の方が来場し、広く防災に対する意識啓発を行うことができた。

(6) 防災キャラバンの実施

市町村で行われる各種「イベント」等の機会をとらえ、地震体験車による各種震度体験、備蓄物資・資機材の展示、災害用保存食の試食等を行い、参加者の防災意識向上を図った。

(7) 火山防災対策

浅間山の火山防災情報の共有や連絡体制の充実等の防災体制強化を図るため、平成17年11月に、群馬県、長野県、浅間山隣接市町村等により浅間山火山防災対策連絡会議を発足し、以後毎年2回開催している。平成23年度中には会議を2回開催した。

また、平成24年3月に群馬県火山防災対策連絡会議を開催し、火山噴火(爆発)防災計画の修正について審議した。

(8) 災害時職員アクションマニュアルの改訂

災害時に職員一人ひとりが迅速かつ的確に行動できるよう平成8年に「震災時職員アクションマニュアル」を作成し、全職員に配布した。その後は、改訂版を作成し、県庁ネットワークを利用して職員に周知を図った。

特に、平成16年は、浅間山の噴火、新潟中越地震、度重なる台風の接近を踏まえて内容を見直し、「災害時職員アクションマニュアル」と改訂した上で製本し、全職員に配布した。

なお、平成17年以降、組織改正などに伴うマニュアルの見直しを随時実施しているが、平成22年には再び製本印刷し、全職員へ配布した。

(9) その他

ア 自衛隊の災害派遣要請

平成23年度は、自衛隊への災害派遣要請はなかった。

イ 林野火災消火用資機材倉庫の維持管理

陸上自衛隊第12旅団相馬原飛行場敷地内に平成13年度に建設した林野火災消火用資機材倉庫の維持管理を行った。

また、長野県、新潟県及び栃木県との協定により空中消火用バケットの使用について、共同して運用管理を行った。

ウ 災害救助法の適用

一定規模以上の災害が発生した場合は、り災者の保護と社会秩序の保全を図るため、災害救助法を適用し、知事がり災者の救助に当たることとなっているが、平成23年中は、同法に基づく救助を要する規模の災害が発生しなかったことから、その適用はなかった（昭和57年以降本県では災害救助法の適用なし）。

2 群馬県地域防災計画の修正状況

防災会議 審議年月日	主な修正事項 (これまでの修正のうち重要なものを抜粋)
38. 9. 10	○群馬県地域防災計画作成
39. 8. 24	○「大震火災予防計画」を新設
42. 6. 1	○災害予防計画で、地すべり関係のほか、山崩れ、がけ崩れ関係危険地域の予防対策を追加
44. 6. 20	○災害予防計画に「火山予防計画」を新設
47. 6. 29	○「地すべり防止対策基本計画」を新設
48. 6. 12	○「林野火災予防計画」及び「林野火災応急対策計画」を新設
53. 7. 25	○災害応急対策計画に「相互応援対策計画」を新設
55. 7. 24	○「自主防災組織育成強化計画」を新設 ○災害対策本部設置前の配備体制として災害警戒本部を追加
63. 7. 26	○群馬県防災行政無線の整備完了に伴い、通報・伝達系統を全面修正
H4. 8. 6	○県地域防災計画の別編として「県震災対策計画」を作成
7. 9. 21	○平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、現行計画を抜本的に修正。主な修正事項は次のとおり。 ①初動体制の確立…宿日直体制・緊急登庁員制度の導入、個別受信機の配備 ②情報収集・伝達体制の整備…パソコンネットワークの構築、代替通信手段の確保 ③自主防災活動の推進…自主防災組織促進協議会の設置、住民の役割を明記 ④相互応援体制の確立…現行応援体制の強化、隣接県との協定締結 ⑤ボランティア活動の育成・支援…ボランティアリーダーの育成、登録制度の導入 ⑥応急物資の備蓄の推進…家庭における備蓄の励行、県・市町村の役割を明記 ⑦防災拠点の整備…地域防災センターの整備
8. 8. 21	○災害対策基本法及び群馬県災害対策本部条例の改正に伴い、群馬県災害対策本部に現地災害対策本部の項を追加
9. 8. 20	○県防災ヘリコプター「はるな」の導入に伴い、「防災ヘリコプター活用計画」を新設
10. 8. 25	○国の防災基本計画の修正に合わせ、道路事故災害及び鉄道事故災害に関する予防計画及び応急対策計画を新設
11. 8. 27	○平成10年に福島県の救護施設で発生した土石流災害を踏まえ、本編に災害弱者対策を新設 ○震災対策編に「本県の地震環境」及び「被害の想定」を新設
13. 6. 13	○県地域防災計画の本編を風水害・雪害対策編、火山災害対策編、事故災害対策編、火災対策編の4つに編立
14. 6. 5	○土砂災害防止法の制定に伴い、土砂災害に関する各種の計画を修正 ○気象業務法に基づく注意報・警報の地域細分化(二次細分地域)に伴う修正
15. 12. 8	○日本郵政公社の発足に伴う、内容の変更 ○群馬県被災宅地危険度判定要綱の制定に伴う事項の追加
16. 12. 27	○水防法改正に伴う内容の変更 ○避難準備(災害時要援護者避難)情報の創設
19. 7. 6	○気象情報の改正(注意報区分変更や土砂災害警戒情報新設等)に伴う修正 ○平成18年豪雪災害の教訓を踏まえた修正
22. 8. 24	○防災基本計画の修正に伴う修正(緊急地震速報、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の確立等) ○気象情報の改正(気象警報等が市町村単位の発表になったことや噴火警戒レベルの導入)に伴う修正
24. 1. 30	○平成23年3月11日に発生した東日本大震災を踏まえた修正。主な修正事項は以下のとおり。 ①県境を越えた広域避難者の受入れ ②県外で原子力施設事故が発生した際の対応 ③災害時要援護者等への配慮の一層の充実 ④災害時等の燃料不足への対応

3 市町村地域防災計画の修正報告の状況

市町村名	報告年月日
富岡市	H23.9.5

4 群馬県総合防災訓練実施状況

※訓練参加実人員

回	年月日	訓練実施場所	参加人員	共催市名
1	40. 8. 10	前橋市岩神町 利根川右岸 県庁北	1,000	前橋市
2	41. 7. 29	高崎市竜見町地先烏川左岸 聖橋下	1,021	高崎市
3	42. 7. 28	桐生市桜木町地先渡良瀬川右岸 錦桜橋下	730	桐生市
4	43. 7. 26	伊勢崎市八斗島町地先 利根川左岸	739	伊勢崎市
5	44. 8. 25	太田市大字飯田 学校建設予定地	1,068	太田市
6	45. 7. 24	渋川市金井羽黒425 関東電化工業敷地	902	渋川市
7	46. 7. 23	館林市大字羽附 群馬県立つつじが岡公園内	1,221	館林市
8	47. 8. 22	沼田市西倉内町650 沼田公園野球場	1,165	沼田市
9	48. 7. 26	藤岡市立石字北川原地先 烏川右岸	1,238	藤岡市
10	49. 9. 3	前橋市岩神町 利根川左岸 競輪場第5駐車場	1,246	前橋市
11	50. 7. 23	富岡市七日市字上久保1250 鐮川左岸	1,222	富岡市
12	51. 8. 24	安中市宿2003 碓井川左岸	901	安中市
13	52. 8. 10	桐生市桜木町地先渡良瀬川右岸 錦桜橋下	1,208	桐生市
14	53. 8. 8	高崎市下和田町地先 烏川左岸	1,148	高崎市
15	54. 8. 8	伊勢崎市福島町地先 利根川左岸	1,387	伊勢崎市
16	55. 9. 1	太田市大字東別所地先 太田大泉飛行場跡地	1,333	太田市
17	56. 9. 1	沼田市西倉内町650 沼田公園野球場	879	沼田市
18	57. 8. 6	館林市城町 三の丸南面グラウンド東広場	4,270	館林市
19	58. 8. 5	渋川市大野地内 渋川市総合体育館南牧草地	3,304	渋川市
20	59. 9. 1	藤岡市下戸塚地内 神流川運動場	10,134	藤岡市
21	60. 8. 6	富岡市上黒岩地内 富岡北部運動公園計画地	7,693	富岡市
22	61. 8. 30	安中市宿地内 碓井川左岸河川敷	7,990	安中市
23	62. 8. 26	前橋市岩神町 利根川左岸 競輪場第5駐車場	※ 1,453	前橋市
24	63. 8. 25	高崎市八千代町一丁目 碓井川左岸 八千代運動公園	※ 1,244	高崎市
25	元. 8. 25	桐生市桜木町地内 渡良瀬川右岸 さくら遊園	※ 1,364	桐生市
26	2. 8. 30	伊勢崎市八斗島町地先 利根川右岸 八斗島ちびっこ広場	※ 1,613	伊勢崎市
27	3. 8. 22	太田市只上地内 渡良瀬川右岸 渡良瀬川運動場	※ 1,519	太田市
28	4. 8. 25	沼田市西倉内町650 沼田公園野球場	※ 1,288	沼田市
29	5. 8. 25	館林市大島町地内 渡良瀬川右岸 館林市青少年ひろば	※ 1,713	館林市
30	6. 9. 1	渋川市半田地内 上毛新聞社情報製作センター建設予定地	※ 818	渋川市
31	7. 9. 5	藤岡市上戸塚地内 神流川左岸 神流川運動場	※ 1,138	藤岡市
32	8. 8. 30	富岡市上黒岩1377-1 もみじ平総合公園 北ゾーン	※ 1,310	富岡市
33	9. 9. 4	安中市郷原939 (株)岡本工作機械製作所安中工場敷地	※ 1,019	安中市
34	10. 9. 4	前橋市総社町総社地内 利根川右岸 大渡緑地	※ 1,266	前橋市
35	11. 9. 3	高崎市八千代町 八千代運動公園	※ 1,603	高崎市
36	12. 9. 5	桐生市桜木町 さくら遊園	※ 1,741	桐生市
37	13. 9. 2	伊勢崎市八斗島町 利根川右岸 八斗島ちびっこ広場	※ 2,013	伊勢崎市
38	14. 8. 31	太田市原宿町 渡良瀬川右岸 渡良瀬グランド	※ 1,451	太田市
39	15. 8. 30	沼田市碓田町 沼田市運動公園	※ 1,428	沼田市
40	16. 8. 29	館林市大島町 渡良瀬川河川敷青少年ひろば	※ 1,100	館林市
41	17. 9. 3	渋川市半田地内 坂東橋緑地公園	※ 815	渋川市
42	18. 9. 2	藤岡市立石地内 烏川右岸 烏川緑地	※ 1,332	藤岡市
43	19. 10. 20	前橋市粕川町 サンデン(株)赤城事業所敷地	※ 757	前橋市
44	20. 9. 6	安中市宿 碓氷川左岸敷地内	※ 738	安中市
45	21. 9. 12	みどり市笠懸町阿左美地内 桐生競艇場駐車場	※ 827	みどり市
46	22. 9. 18	富岡市蚊沼607-3他 (株)稲葉製作所富岡工場建設予定地	※ 960	富岡市
47	23. 9. 10	高崎市下之城町 高崎操車場跡地周辺土地区画整理事業地内	※ 1,000	高崎市

(注) 訓練概要

- ① 想定・・・1回～15回は台風、16・17・23・39・43回は地震、18～22・24～31・34～38・40～42・45～47回は地震及び台風(41～47回はテロ対策含む)、32、33回は地震及び林野火災
- ② 訓練種目・・・警戒広報・避難誘導、被害調査・情報収集、孤立地域からの救助、情報通信、水防、各種救出救助、消火、林野火災消火、救急医療、ライフライン応急復旧、救援物資輸送、テロ対処等
- ③ 参加機関・・・県、市町村、自衛隊、警察、消防、国土交通省、日赤、東京電力、NTT、地域住民、各種ボランティア、その他防災関係機関・団体

5 県火山防災対策連絡会議等開催状況

年月日	場 所	主 な 議 題
54. 10. 31	中之条合同庁舎会議室	○浅間山及び草津白根山の現況について ○火山防災計画の概要について ○各機関における対策の現況及び今後の計画について
56. 1. 19	〃	○浅間山及び草津白根山の現況について ○火山防災対策連絡会議の設置について ○浅間山噴火防災応急計画の見直しについて
56. 5. 29	〃	○火山噴火（爆発）災害対策細部計画（仮称）案について
58. 3. 15	〃	○浅間山の火山活動について
59. 3. 2	〃	○浅間山及び草津白根山の噴火状況等について
60. 3. 1	〃	○火山噴火（爆発）防災計画修正案について ○構成員の新規加入について
61. 2. 28	〃	○情報伝達施設（防災無線）の整備運用について
62. 2. 18	〃	○火山噴火（爆発）防災計画修正案について
63. 2. 14	〃	○火山噴火（爆発）防災計画修正案について ○構成員の新規加入について
3. 1. 24	〃	○火山噴火（爆発）防災計画修正案について ○構成員の新規加入について
5. 3. 23	〃	○火山噴火（爆発）防災計画修正案について ○火山地域防災機能強化総合治山事業について ○構成員の新規加入について
8. 3. 22	中之条町役場大会議室	○火山噴火（爆発）防災計画修正案について ○火山噴火災害危険区域予測図（ハザードマップ）の作成について ○火山噴火警戒避難対策事業について
10. 3. 17	吾妻町山村開発センター 会議室	○火山噴火（爆発）防災計画の概要及び修正について ○草津白根山及び浅間山の最近の活動状況等について
12. 3. 17	群馬県庁 291 会議室	○火山噴火（爆発）防災計画の修正について
13. 11. 2	群馬県地域防災センター 災害対策本部室	○火山噴火（爆発）防災計画の修正について ○群馬県火山防災対策連絡会議設置要綱の制定について ○構成機関の追加について
15. 12. 19	群馬県地域防災センター 災害対策本部室	○火山噴火（爆発）防災計画の修正について ○構成機関の追加について
18. 3. 15	群馬県庁 291 会議室	○火山噴火（爆発）防災計画の修正について
19. 6. 28	嬭恋会館 3 階大ホール	○浅間山火山防災対策連絡会議 ・浅間山航空観測について ・浅間山ハザードマップについて ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・浅間山噴火シナリオ（案）について ・噴火警戒レベルの導入について ・意見交換 ほか
19. 11. 29	嬭恋会館 3 階大ホール	○浅間山火山防災対策連絡会議 ・防災対応に係る申し合わせ書について ・気象業務法の一部改正に伴う噴火警報の実施について ・軽井沢測候所火山観測要員の浅間山周辺市町村への駐在

20. 2. 07	群馬県地域防災センター	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・その他各種活動状況について ほか ○群馬県火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・浅間山、草津白根山の現在の活動状況について ・気象業務法の一部改正に伴う噴火警報の実施について ・火山噴火（爆発）防災計画の今後について
20. 7. 14	軽井沢中央公民館	○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・委員（幹事）の変更、追加について ・浅間山の最近の活動状況について ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・国土交通省・内閣府による講演会 ほか
20. 11. 18	軽井沢中央公民館	○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・会長等の改選について ・浅間山の最近の活動状況について ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・その他各種活動状況について ほか
21. 3. 05	群馬県庁 7階 災害対策本部室	○浅間山火山防災対策連絡会議（幹事会） <ul style="list-style-type: none"> ・浅間山の最近の活動状況について ・噴火警戒レベルの引上げ等に関する考え方について ・火山に関する解説情報、降灰予報等について ・意見交換 ・連絡会議への新規参画について ほか
21. 7. 02	長野原町 山村開発センター	○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・委員（幹事）の変更、追加について ・浅間山火山防災マップ原案について ・「防災対応についての申し合わせ」の内容修正等 ・浅間山の最近の活動状況について ・意見交換 ほか
21. 12. 22	長野原町 山村開発センター	○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・会長等の改選について ・浅間山の融雪型火山泥流における防災対応の基本方針 ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・浅間山の火山活動状況等について ・その他各種活動状況について ほか
22. 3. 15	群馬県地域防災センター	○群馬県火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・火山防災エキスパートによる講演 ・浅間山、草津白根山の現在の活動状況について ・火山噴火（爆発）防災計画の修正について
22. 8. 24	御代田町 エコールみよた	○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・融雪型火山泥流作業チームの検討状況について ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・浅間山の火山活動状況等について

22. 12. 22	御代田町 エコールみよた	<ul style="list-style-type: none"> ・その他各種活動状況について ほか ○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・会長等の改選について ・融雪型火山泥流作業チームの検討状況について ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・浅間山の火山活動状況等について ・その他各種活動状況について ・火山防災エキスパートによる講演会 ほか
23. 8. 16	嬭恋村 嬭恋会館	○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・融雪型火山泥流に関する住民説明会について ・防災マップ策定ワーキンググループの状況について ・浅間山大規模噴火対策の検討について ・浅間山の火山活動状況等について ・その他各種活動状況について ほか
23. 11. 25	嬭恋村 嬭恋会館	○浅間山火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・会長等の改選について ・融雪型火山泥流に関する住民説明会の実施状況について ・融雪型火山泥流に係る防災対応に関する申し合わせ書について ・浅間山大規模噴火対策の検討について ・浅間山の火山活動状況等について ・その他各種活動状況について ・火山防災エキスパートによる講演会 ほか
24. 3. 15	群馬県地域防災センター	○群馬県火山防災対策連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> ・気象庁火山課職員による講演 ・浅間山、草津白根山の現在の活動状況について ・火山噴火（爆発）防災計画の修正について

6 平成23（2011）年の気象概況

平成23年の群馬県における月別気象概況は次のとおりです（前橋地方气象台提供）。

1月	冬型の気圧配置の日が多くなり、南部では晴れの日が、北部山沿いでは曇りや雪の日が多くなりました。このことから南部を中心に、月降水量は平年より少なくなりました。前橋では、月降水量の少ない方からの値が0.0ミリで、1896年の統計開始以来第1位となりました。また、10日には前橋で初雪（平年は12月16日）を観測しました。
2月	日本付近を気圧の谷や低気圧が周期的に通ったことから、天気変化が激しく、上空には寒気も流入したことから雪も降り、旬半ばの14日から15日は県内各地で積雪となりました。
3月	日本付近を気圧の谷や低気圧が周期的に通ったことから、天気変化が激しくなりました。冬型の気圧配置となることも多く、上空に寒気も流入したことから、気温の変化も激しくなりました。
4月	日本付近を気圧の谷や低気圧が周期的に通ったことから、天気変化が激しくなりました。冬型の気圧配置となることも多く、上空に寒気も流入したことから、気温の変化も激しくなりました。県内の気温は、上空に寒気の流入が多くなったことから、各地で平年を下回りました。県内の降水量は、平年並から平年を下回りました。
5月	上旬と下旬を中心に低気圧や前線が日本付近を短周期で通過したことから曇りや雨の日が多くなりました。気象庁は27日ごろ「関東甲信地方は梅雨入りしたとみられる」と発表しました。県内の気温は、概ね平年並となりましたが、南部の一部地域で平年より低くなりました。県内の降水量は、月末の台風第2号の影響で前線の活動が活発となり各地で大雨となったことから南部を中心に平年を大きく上回りました。
6月	上旬から中旬にかけて梅雨前線は本州の南海上に停滞したことから、曇りや雨の日が多くなりましたが、前線の活動が弱かったことからまとまった雨は降りませんでした。後半は前線活動が日本海から東北地方に移り、南海上から暖かな空気が流入したことから、県内各地で猛暑日が多くなり、6月24日には前橋を加えた5か所のアメダス観測所で6月の最高気温が観測開始以来の記録を更新しました。
7月	上旬は太平洋高気圧の勢力が強まり平年より12日早い7月9日の梅雨明けとなりました。梅雨明け後は太平洋高気圧の勢力が強く、日中の昇温もあり連日の猛暑となりました。中旬も引き続き太平洋高気圧の勢力が強く、連日の猛暑となりましたが、後半は台風第6号が関東地方の南海上を通過したことから、南東部を中心に大雨となりました。後半は東北地方南部が気圧の谷場となったり、前線が居座り続けたことから雨の日が多くなりました。また、上空に寒気が流入したことから、大気の状態が不安定となり連日の雷雨となりました。更に月末には新潟県から福島県にかけての豪雨をもたらした雨雲が県内にも流入し、北部を中心に大雨となりました。
8月	上旬の前半と中旬の後半から月末にかけて気圧の谷や前線の影響で気温の低い雨の日が多くなりました。また、上旬の半ばから中旬の半ばにかけては太平洋高気圧の勢力が強まったことから日中は晴れて暑い日が続く、猛暑となった地域も多くみられました。期間を通しては、寒暖の変化が激しい月となりました。また、台風第12号の影響で南海上からの暖かく湿った空気が入り、月末の31日から南部で大雨が降り始めました。
9月	上旬の前半と中旬の後半から下旬の前半にかけて、台風第12号と台風第15号及び台風の北上に伴う南海上からの湿った空気の影響で大雨となり、気温も低い状態となりました。この他の期間は太平洋高気圧や移動性の高気圧に覆われたことから晴れの暖かな日が多くなりました。特に10日から18日にかけては太平洋高気圧と日中の昇温により所々で猛暑となりました。
10月	上旬から中旬にかけて比較的到高気圧に覆われる日が多くなりましたが、上旬は北の冷たい高気圧に覆われたことから気温は低く推移し、中旬は高気圧が北に偏り南海上から暖かな空気が流入したことから気温は高く推移しました。下旬にかけても比較的到高気圧に覆われる日が多く、月を通してまとまった雨の日が少なかったことから、降水量は県内各地で平年を下回りました。なお、3日には仙ノ倉山と白砂山で平年より23日早い初冠雪を観測しました。

11月	<p>上旬は、全般に高気圧に覆われる日が多くなりました。中旬は、高気圧と低気圧が交互に通ったことから、めまぐるしい天気変化となりました。下旬は、冬型の気圧配置や移動性高気圧に覆われたことから、晴れの日が多くなりました。平均気温は、高気圧に覆われる日が多かったことや南海上から暖かな空気が流入したことなどから県内各地で高めに推移しました。降水量は、中旬にまとまった雨が降ったことから地域差は見られましたが、概ね平年並から多くなりました。</p>
12月	<p>上旬に低気圧が周期的に関東地方の南海上を通過し、まとまった雨となった日もあり、南部ではほとんどの地域で上旬の降水量が月総降水量となりました。中旬以降は、西高東低の冬型の気圧配置や、移動性高気圧に覆われ晴れの日が多くなりました。その中でも、中旬の半ば以降は冬型の気圧配置で寒気の流入も多くなったことから、南部では北西の季節風が多くなり、気温も全般に低く、雨はほとんど降りませんでした。逆に北部山間部では雪となった日が多くなりました。</p>

前橋の平均気温・降水量・日照時間の平年との比較（前橋地方气象台提供）

月	平均気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（h）		
	平成23年	平年差	階級区分	平成23年	平年比（%）	階級区分	平成23年	平年比（%）	階級区分
1	2.4	-0.9	低い	0.0	0	かなり少ない	235.5	116	かなり多い
2	4.9	+1.3	高い	35.5	108	平年並	196.2	105	平年並
3	6.1	-0.8	低い	34.0	60	少ない	228.5	113	多い
4	12.6	-0.3	平年並	29.0	37	かなり少ない	229.4	122	多い
5	17.8	-0.2	平年並	190.5	187	かなり多い	154.6	80	かなり少ない
6	22.9	+1.4	高い	45.0	31	かなり少ない	124.6	94	平年並
7	27.1	+2.0	高い	196.0	99	平年並	171.9	124	多い
8	26.6	+0.2	平年並	209.5	104	平年並	157.8	96	平年並
9	23.9	+1.5	かなり高い	450.0	204	かなり多い	180.0	143	かなり多い
10	17.1	+0.6	平年並	63.0	55	少ない	166.8	104	平年並
11	12.3	+1.5	かなり高い	53.0	119	多い	178.8	100	平年並
12	4.8	-1.2	低い	34.0	147	多い	203.3	99	平年並
年	14.9			1340.0			2227.4		

群馬県における地震の概況について（前橋地方气象台提供）

平成23年に群馬県内で最大震度4以上を観測した地震の回数は13回です。3月11日に発生した「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」では、群馬県内では桐生市で震度6弱を、沼田市、高崎市、邑楽町、大泉町、千代田町、明和町、渋川市、前橋市で震度5強を観測したほか、県内の広い地域で震度5弱～2を観測しました。その他、翌3月12日に長野県と新潟県の県境付近で発生した地震では、群馬県内では中之条町で震度5強、草津町で震度5弱を観測したほか、県内の広い地域で震度4～1を観測しました。

7 平成23年災害状況

(1) 災害による被害状況

平成23年中は、合計19回の災害が発生し、被害総額は4,693,481千円にのぼった。本年については東日本大震災に加え、台風被害により、公共土木施設の被害総額が大きくなった。公共土木施設のみで2,535,748千円の被害である。

(2) 災害種別被害額

(単位：千円)

災害種別	平成22年			平成23年		
	件数	被害額	比率(%)	件数	被害額	比率(%)
台風	1	67,000	3.30	4	2,776,505	59.16
凍霜害	1	280,569	13.82			
集中豪雨	10	1,484,089	73.10	8	1,255,295	26.75
降ひょう	1	20,057	0.99			
干害						
風害	1			2	75,611	1.61
地震				1	562,070	11.98
落雷						
地すべり						
落石				1	24,000	0.51
湿害	1	73,379	3.61			
雪害	6	105,158	5.18	3		
火山害						
合計	21	2,030,252	100.0	19	4,693,481	100.0

(3) 施設別等被害額

年	件数	公共文教施設	農林水産業施設	公共土木施設	農作物等被害	その他
平成18年	22		157,536	173,380	47,824	478,489
平成19年	22	19,071	1,911,547	2,413,127	1,588,684	6,648,793
平成20年	33		38,650	703,900	290,803	682,000
平成21年	18	2,866	27,400	214,730	3,193	44,445
平成22年	21		86,791	227,577	1,205,449	510,435
平成23年	19	238,974	378,312	2,535,748	587,981	952,466

(4) 災害別内訳 (人的・住家被害)

災害番号	災害発生年月日	災害種別	発生地域	人的被害				住家被害												り世帯数	災り者数						
				死者 人	行方不明者 人	負傷者		全壊			半壊			一部破損			床上浸水					床下浸水					
						重傷 人	軽傷 人	棟	世帯	人	棟	世帯	人	棟	世帯	人	棟	世帯	人			棟	世帯	人	棟	世帯	人
1	1月	雪害	沼田市、安中市、草津町、片品村			3																					
2	2月	雪害	みなかみ町、草津町、片品村、高崎市、安中市	1		1	3																				
3	3月	雪害	草津町、中之条町、みなかみ町			2	2																				
4	3/11～	東北地方太平洋沖地震	県内各地	1		14	27			7	7	21	17,246												7	21	
5	5/30	台風2号	安中市																								
6	6/21	突風	邑楽町										64														
7	7/12	大雨																									
8	7/19	台風6号	太田市、板倉町																			3					
9	7/26	強風	沼田市、安中市、草津町、片品村										1	1	6												
10	7/27～7/31	大雨	みどり市、片品村、みなかみ町、川場村										1	1	2	1						6					
11	8/7	大雨	藤岡市																			1					
12	8/8	大雨																									
13	8/10	大雨																									
14	8/14	大雨																									
15	8/25	大雨	高崎市、安中市																			9	9				
16	8/26	大雨	太田市													1						6					
17	8/31	台風12号	県内各地							1	1	3	23	26	84	17	22	37	270	273	676						
18	9/20	台風15号	前橋市			1	1																				
19	11/13	落石																									
		計		2	0	21	33	0	0	0	8	8	24	17,335	28	92	19	22	37	295	282	676	7	21			